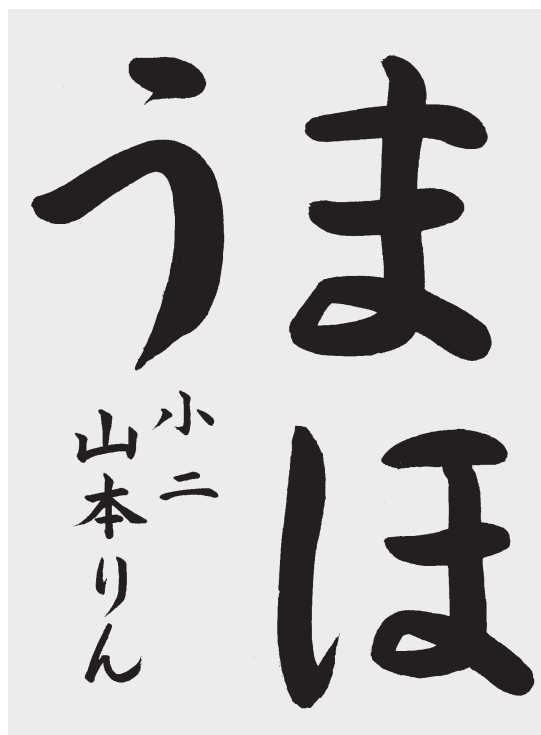
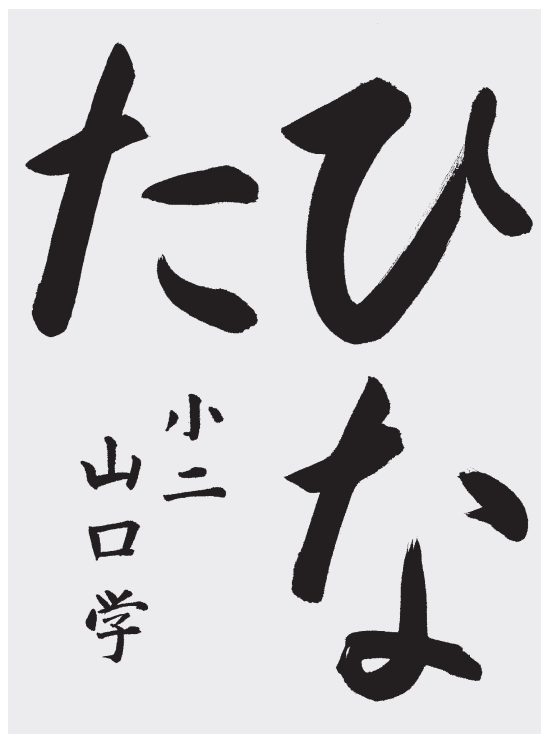


〔12月 3 日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学 2 年 参 考 手 本



倉 林 紅 瑤 先生

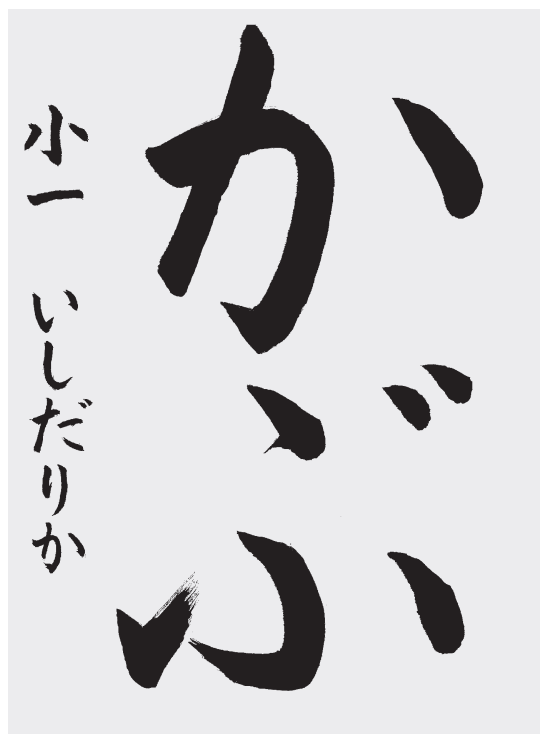


広 瀬 舟 雲 先生

幼・小学 1 年 参 考 手 本



大 平 邑 峰 先生



崎 井 恵 風 先生

〔12月 3 日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 4 年 参 考 手 本

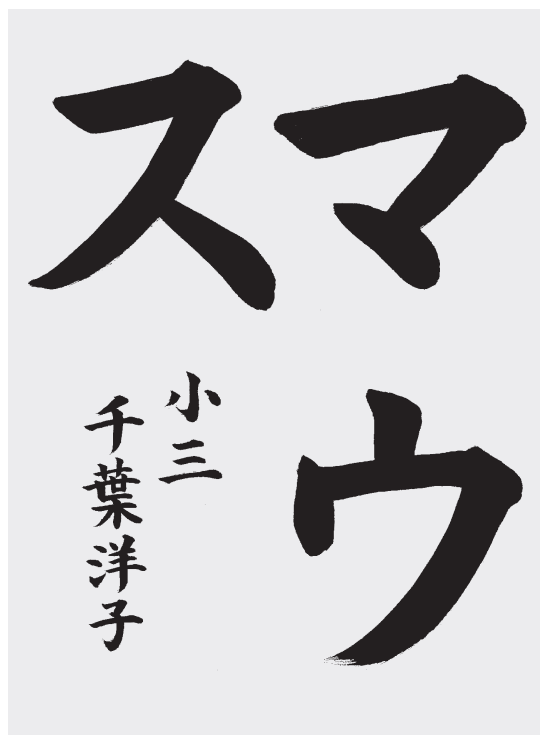


小 林 琴 水 先 生



川 村 美 泉 先 生

小学 3 年 参 考 手 本



千 葉 蒼 玄 先 生



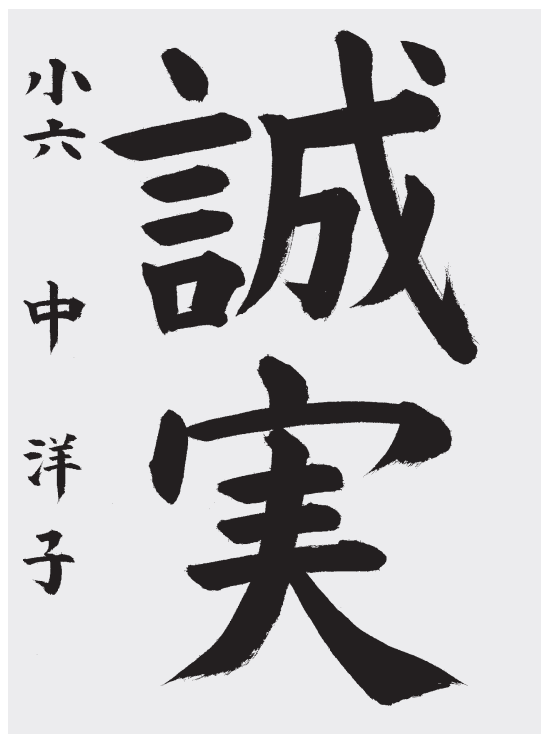
後 藤 大 峰 先 生

〔12月 3 日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 6 年 参 考 手 本



川 島 舟 錦 先生

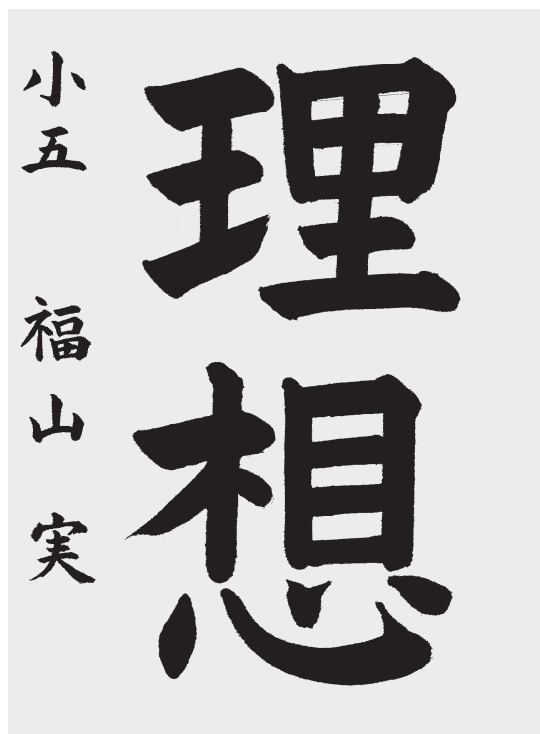


半 田 藤 扇 先生

小学 5 年 参 考 手 本



名 越 蒼 竹 先生



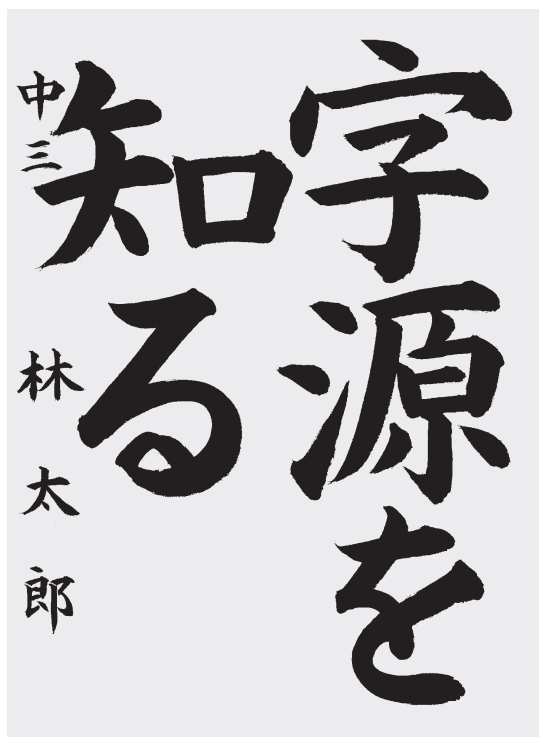
佐 藤 菜 扇 先生

〔12月 3 日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



佐藤 希雲 先生



小竹 石雲 先生



辻 元 大 雲 先生



海月（集字・拡大）

集字聖教序
（中国・東晋時代）
王羲之

発展〔中学生〕

有名な古典の名跡に挑戦してみよう

※この課題は行書で書くこと。

○長い歴史の中で現代に伝わる中国や日本の優れた書のことを「古典の書」といい、古典の書を手本として書を学ぶことを「臨書」といいます。

王羲之は、中国の歴史上の人物で最も書が優れているといわれ、王羲之の書を唐時代に集めて作られた「集字聖教序」は、行書を学ぶ手本として有名です。自然な運筆を意識し、太細の変化や筆脈に注目して臨書してみてください。

毛筆参考手本解説(1)

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましよう。
ゴシック体(ゴ)・明朝体(明)・教科書体(教)・HGP行書体(H)

1年

つながるきもちで

お
お(明)
お(教)

位置に注意
つながる
きもちで

か
か(明)
か(教)

位置に注意
つながる
きもちで

かぶ
かぶ(明)
かぶ(教)

2年

ま
ま(明)
ま(教)

とめる
とめる

まほう
まほう(明)
まほう(教)

ひ
ひ(明)
ひ(教)

ひなた
ひなた(明)
ひなた(教)

3年

マ
マ(明)
マ(教)

マウス
マウス(明)
マウス(教)

マウス
マウス(明)
マウス(教)

木
木(明)
木(教)

中心
止め
はね

森
森(明)
森(教)

十木
十木(明)
十木(教)

4年

詩
詩(明)
詩(教)

中心
長く
等間隔

詩人
詩人(明)
詩人(教)

詩詩
詩詩(明)
詩詩(教)

の
の(明)
の(教)

も
も(明)
も(教)

もみの木
もみの木(明)
もみの木(教)

5年

冬
冬(明)
冬(教)

中心
少し出す

冬山
冬山(明)
冬山(教)

冬山の朝
冬山の朝(明)
冬山の朝(教)

理
理(明)
理(教)

中心

理想
理想(明)
理想(教)

理想
理想(明)
理想(教)

十木
十木(明)
十木(教)

毛筆参考手本解説(2)

6 年

中学

ブランド
中心
トメ

ブランド(ヨ)
ブランド(明)
ブランド(教)

〈字源〉
不不不フ
良良ラ
撥音符号からン
止ト

中心
誠実
トメ

そのは長く

誠実(ヨ)

誠実(明)

誠実(教)

〈筆順〉

言言訥誠誠誠

ハハ宣宣実実

〈許容〉
方向
方向
止め

中心
字源を
トメ

字源を知る(ヨ)
字源を知る(明)
字源を知る(教)
〈許容〉
はなす
方向
方向
止め

かな
突き返す
次につながる気持ちで

発展

「集字聖教序」

海月

収筆の変化

海

楷書よりも柔らかい
起筆・送筆・収筆で

月

点画や字形が
曲線的になる

点画のつながりを意識しながら、和らぎのある運筆で書きましよう。

ひらがなの字源

(409)

な	か	れ	く	し	字源	字形
奈	加	礼	久	之		
な	か	れ	く	し		

「国語科書写の理論と実践」
全国大学書写書道教育学会編より転載

※字源については、異字体から変遷したものに*印を付して()にその字体を記した。
※字形は古筆から抽出した。上段には字源に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

〔12月 3 日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 2 年

幼・小学 1 年

硬筆參考手本

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましょう。ゴシック体(ゴ)・明朝体(明)・教科書体(教)・HGP行書体(H)

支 部 名									
段 ・ 級									
学 年									
二									
名 前									
木下花									

支 部 名			
	こ		
だん・きゅう	ん		は
	を		た
がくねん	み		け
一	つ		で
な ま え	け		だ
すず ^ず じん	た。		い



紙

はらう

なながくはねる

〈ひつじゅん〉



手

はね

すこしそる

〈ひつじゅん〉



友

のびやかに

〈ひつじゅん〉

紙

紙

紙

紙

手

手

手

手

友

友

友

友

紙

紙

紙

紙

手

手

手

手

友

友

友

友

[illegible]

〔12月 3 日締切課題〕

作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 4 年

小学 3 年

支 部 名		地	よ		
		図	う		
段 ・ 級		で	に		都
		さ	な		道
学 年		が	る		府
四		す	ま		県
名 前		。	で		名
大			練		が
田			習		書
葉			し、		け
子					る

支 部 名									
段 ・ 級									
学 年									
三									
名 前									
山 中 高 矢									

Calligraphy examples for '府' (fu) and '都' (to). The '府' section shows the character with a center point and a note '少し出す' (slightly out). The '都' section shows the character with a center point and a note 'あける' (open). Below each character are variations of the character with different penmanship styles, labeled with '筆順' (stroke order) and '道' (style).

漢字の字形を正しく書きましょう。

一可可哥哥歌
 歌(三)歌(明)歌(教)

楽(ゴ) 楽(明)
 白泊楽 楽(教)

士

声(三) 声(明) 声(教)
 へひつじゅん
 一十士寺寺声
 ほうこうと長^{なが}さにちゅうい

吉(兎)吉(月)吉(亥)
はらいのほうこうや長さ^{なが}にちゅういして書きま^かしょう。

〔12月 3 日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小 学 6 年

小 学 5 年

支 部 名	発	は	
	射	、	今
段・級	さ	通	度
	れ	信	の
学 年	る	衛	新
	と	星	型
名 前	聞	を	ロ
	く	の	ケ
	。	せ	ッ
		て	ト

支 部 名	持	率	
	っ	が	天
段・級	て	高	気
	行	い	予
学 年	き	の	報
	ま	で	は
名 前	す	、	、
	。	か	雨
		さ	の
		を	確

はらいの方向や長さに注意して字形を整えましよう。

射

点の位置

はね

身の「ノ」の長さと方向に注意

射(3) 射明 射教

衛

はらいの方向に注意

イイイイ律律衛

衛(3) 衛明 衛教

度

はらいの方向と長さに注意

一 戸 戸 戸 度

度(3) 度明 度教

筆順に気をつけて、字形を整えて書きましよう。

率

中心

長く

率(3) 率明 率教

確

確(3) 確明 確教

報

報(3) 報明 報教

〔12月 3 日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中 学 生 (行 書)

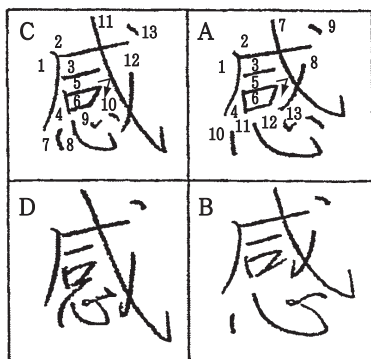
中 学 生 (楷 書)

支 部 名	
段 ・ 級	
学 年	中二
名 前	平井優実

師走は一年最後の締めくくり。
誰もが慌ただしさの中に特別の
感慨をもって迎える月。

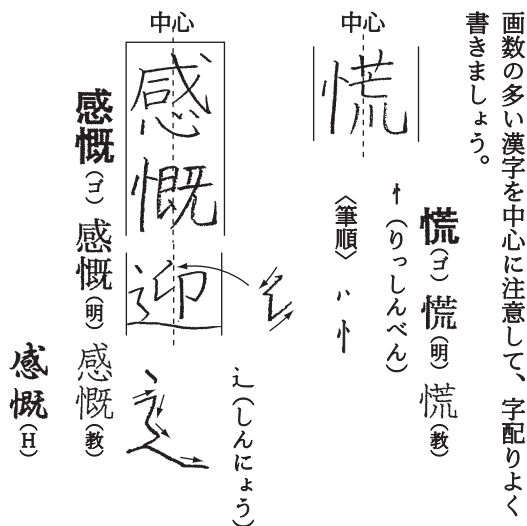
支 部 名	
段 ・ 級	
学 年	中二
名 前	平井優実

師走は一年最後の締めくくり。
誰もが慌ただしさの中に特別の
感慨をもって迎える月。



す。わりま

・行書のワンポイントアドバイス
④は小学校で習う筆順で、⑤はその行書です。⑥はもう一つある筆順で⑦はその行書です。「感」の筆順は古来2通りあり、筆順によって少し字形が変



画数の多い漢字を中心に注意して、字配りよく書きましょう。

これからの作品締切日と課題

令和8年1月号～3月号までの作品締切日と毛筆課題

中学生 (全学年共通)		小6	小5	小4	小3	小2	幼・小1	締切日	
白雪紅梅	神秘(集字聖・集字)	湖水	働く	毛筆	馬	てがみ	さ	1月5日	1月
しらゆき		事始め	福笑い	星の光	大会	へいわ	うま		
三寒四温	名品(九成宮・集字)	発展	クレヨン	切手	金づち	ミルク	な	2月8日	2月
たけうま		氷点下	最初	とりの声	土星	きもの	おに		
万里長城	東雲(九成宮・集字)	公式戦	信念	竹ざいく	テレビ	もけい	み	3月9日	3月
月夜かな 花の上なる しばらくは		世界地図	花だより	緑茶	白くま	おやつ	むれ		

1月号の硬筆課題

※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

幼・小1

が	
や	ま
け	る
ま	い
し	お
た	も
。	ち

小	2
と	
う	あ
ご	け
ざ	ま
い	し
ま	て
す	お
。	め
	で

小	3
大会を しました。 。	広い 教室で カルタ

小 4

を	あ	
見	る	山
上	み	の
げ	は	駅
ま	ら	の
し	し	向
た	台	こ
°	か	う
	ら	側
	星	に

小 5

安	け	
心	ば	防
で	、	火
き	い	設
ま	ざ	備
す	と	を
。	い	整
	う	え
	時	て
	に、	お

小 6

れ	で	
親	、	誠
し	み	実
ま	ん	で
れ	な	優
て	か	し
い	ら	い
る	尊	人
。	敬	な
	さ	の

中学生

私たちは、故事成語をよく使う。	「矛盾」という言葉は、中国の古い逸話がもとである。
-----------------	---------------------------



書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、(公財)書道芸術院評議員です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

第105回 書道三学会について―来年度は東京・武蔵野大学で

毎年九月に、書道の三つの学会【①日本教育大学協会書道教育部門会、②全国大学書写書道教育学会、③全国大学書道学会】が、書写書道の教育課程を持つ全国にある大学が当番校となって、3日間、順に開催されます。①は教育学部のある国立大学及び同附属小中学校の先生方を中心にした学会、②は書写書道教育を研究分野とする学会、③は書道史・書論を研究分野とする学会です。

この十年の開催地を記すと、2017年は東京（東京芸芸大学）、2018年は滋賀（滋賀大学）、2019年は鳥取（鳥取大学）、2020年（コロナのため延期）2021年は香川（香川大学）、2022年は静岡（静岡大学）、2023年は東京（跡見学園女子大学）、2024年は福岡（福岡教育大学）、2025の今年は長野（信州大学）で、ほとんどが国立大学での開催となっています。

ところで、2020年は、東京オリンピックが延期、学会も同じで、翌年再び香川大会と初めのオンラインNoonの影響でわずらわしく開催をあきらめ、大会初のオンラインNoonでの開催となりました。この歴史上稀にみるパンデミックの期間を、この時生きた人々がどのように乗り越えたのか、機器を操作して行った教育の一端を残そうと思い、執筆したのが、「Noonを用いた書写書道に関するオンライン授業の実践―新型コロナウイルス感染症流行時における本学での取り組み―」（『書写書道教育研究』第35号所収）でした。この三つの学会の中で最も新しい学会②も、本年度で創立40周年を迎え、今年、カラーのとてもきれいな記念誌を発行し会員に配布しました。

学会①の事務局は学芸大にあり、私は30歳前後の頃は、同附属小金井中の教員をしていたので会員でありかつ庶務担当でした。また、附属中なので毎年、母校書道科の学生3人ほどを教育実習期間の3週間を受け入れ、その指導教官を担当しました。書道科の実習生には「書写」の授業をしてもらいました。研究授業の日には母校書道科の先生が必ず参観に来られるので気を抜けません。毎授業の事前・事後指導、研究授業の前には生徒が帰った後の教室で模擬授業（練習）を何回かした後に、研究授業の当日を迎えましたが、終了後、ふりかえりの時間で、訪問されて来られた恩師からの学生へのご教示は、私が受け入れてからそれまでの実習生への指導で気づかず、至らなかつたこ

と受け止め、常に教育実習時の指導法を磨くことができ、私自身もスキル向上に繋がったと感謝しています。

学会②へは、40年前の創立記念大会から私（当時27歳）は参加していますが、最初の10年は、こちらも当時、学芸大にあった学会事務局の委員として長野事務局長のお手伝いをしていました。次の10年間は私が武蔵野女子大学（現・武蔵野大）の専任教員になったとはほぼ同じ時期に事務局も私の勤務先へ移転となり、事務局長という大任を受け継ぐこととなり、久米・浦野両理事長の下でいろいろの調整や雑務をこなすこととなりました。書写書道教育の第一人者の久米先生から直接ご教示をうけられたのがとてもうれしかった思い出です。当時会員数も300人を超え、この間に本学会の日本学術会議への登録学会となるための手続きがあり、書類の作成等が大変でした。久米理事長の時代は、教員養成系大学で使用する書写教育の教科書の編纂に始まり、通常の大会以外に日本教育会館などで大きなシンポジウムをも学会主催として企画・開催。おおいに勉強させていただきましたが、事務局は多忙でした。次の10年は、企画広報局長として、宮澤理事長の下でシンポジウム企画や司会等の担当をさせていただき、その中に30周年記念誌の編集作業があり、私が担当してからもう10年たったのかととても懐かしく思いました。

本年度の信州大会は、有名な善光寺近くの信州大学教育学部で開催されました。本年度の3学会での話題は、造形的な創作物の作成においても、いまや「生成AI」の進化が目覚ましく、書写書道の分野においてもその活用についての研究が必要という話題で持ち切りでした。画像・音声・動画・音楽など人間が作成する様な新しいコンテンツやアイデアを自動的に生み出すことができる人工知能のことで、生成AIを用いた行書の作品例を見せていただき、完全とはいえないまでも、かなり良いところまでできることがわかり驚きました。次年の2026年度の大大会は、東京の武蔵野大学教育学部でこの書道三学会を開催することに決まりました。従来の研究分野の発表だけではなく、次の学習指導要領改訂への動きや、生成AIなどを用いた斬新な発表もあるかと考えます。今年度と同じ9月上旬の金土日を予定しています。正確な日程は来年4月に発表します。興味のある方はぜひ②③の学会にお越しください。

今月のホープ



中三 石田 あかり (わかば書道会)

かなの筆使いと共に滑らかで自然な連綿が実に美しい。一字目から二字目に入るリズムも、気脈が通じ見事です。



小四 市原陽菜 (院内)

始筆から払い、ゆるぎない力の込められた送筆。正確な字形に名前の配置、バランスの取れた素晴らしい作品です。

支那名	東葉	おい	ガス	
姓・名	特待	も	と	二酸化
学年	六	ない	も	炭素は
氏名	吉永紗笑	い	いい	炭酸
		気体です。	色やに	

小六 吉永紗笑 (東葉)

正確で整った字形は抜群の美しさです。雄大の中に力強さもあり、堂々の快作です。名前も立派に書けました。

支那名	藍水	み	
姓・名	6	ま	ふ
学年	一	した。	し
氏名	たかはしちなつ		ぎ
			な
			え
			を

小一 高橋千夏 (藍水)

どの字も大変ていねい。字の形も良く、力の入れ方が素直で優しい仕上がりになりました。これからは頑張って！

令和

年

月

日

◇ 登 録 用 紙 ◇

団体番号		支 部 名		先 生 名	
------	--	-------	--	-------	--

※氏名を楷書で記入してください。

※毎月 **1 5** 日までに登録された方は次月から出品可能です。

※退会の処理は年2回の昇級試験時に手続きをお願いいたします。

※3月に登録される時は、備考欄に新学年を記入してください。

※現在の学年を明記してください。



氏 名	ふ り が な	学 年			備 考
		幼	小	中	

◇ 部 数 変 更 届 ◇

現 在		増 減	合 計
冊	月号から		冊
事務局使用欄			

※部数減の変更は、毎月 1 5 日までに

部数増の変更は、いつでも事務局へご連絡下さい。

FAX番号 (03) 3862-1957

※この用紙をコピーして繰り返しお使い下さい。

1月号毛筆参考手本（予告） 1月5日締め切り分

幼・1年

七
小一やまだまり

うま
小一はらくみこ

2年

みてが
小二田中いく

わへい
小二田山友子

3年

馬
小三 中川タ子

大会
小三 山下洋

4年

毛筆
小四 国広有正

星の光
小四 星谷糸

5年

働く
小五 山本りん

福笑
小五 大井幸代

6年

湖水
小六 山上青空

事始め
小六 田中春代

中学

神秘
中三 岡本梨子

紅白梅雪
中三 佐川明美

ゆい
中三 田中小春

編集余録

○秋季昇段級試験の審査が終了しました。今回も大変多くの出品があり、審査員の先生方で皆さんの力作を丁寧に審査しました。『合格証』は団体の先生宛に送付いたします。楽しみにしてください。

○今月の中学生の毛筆課題は、東晋・王羲之（303?～361?）の「集字聖教序」です。

王羲之は、1500年以上も昔、四世紀の中国に生きた人物です。古来、「書聖」としてたたえられ、楷書・行書・草書の三体を芸術の域にまで高め、中国だけでなく、日本の書にもとても大きな影響を与え続けてきました。

「集字聖教序」は、唐の時代の僧・懷仁が王羲之の文字を集めて刻した石碑です。「集王聖教序」とも呼ばれ、昔から王羲之の行書を学ぶための手本として用いられてきました。

王羲之の書は、他にも「蘭亭序」をはじめ、数多くの尺牘（手紙）などが伝わっています。しかし、王羲之自身が書いた真跡は、一つも現存していません。残されているのは、すべて模写された複製です。

（悠輝）

競書出品規定

毛筆

○毛筆清書は半紙普通判(小さい半紙)に書くこと。(たて33cm×よこ24cm)

○書き方は、学年相当の書き方でよい。(小学生は楷書、中学生は楷書または行書)

○幼・小一の方は、学年を書かなくてもよい。

硬筆

○硬筆清書は本院指定の用紙か、もしくは指定の用紙をコピーし原紙の大きさにあわせて切って使用する。

○書写用具は、えんぴつ(HB又はBが望ましい)、黒色のフェルトペン、ボールペン、その他学年に応じたものを使用し、てよろしい。筆ペンは不可。
○学年は漢数字(一、二、三…)、級は算用数字(10、9、8…)、

11月号の清書しめきりは

11月4日(火) 必着

おくれないうちにお送りください。

段は漢数字(一、二、三、四)を記入。

○硬筆用紙の支部・支局名を本人が書けない場合は、ゴム印でもよい。

毛筆・硬筆

※作品に「学年」「氏名」を本人が書く。

月例競書作品出品のお願い

○1月号(11月末発送予定)に同送される審査後の新しい段級が印字された(毛筆・硬筆とも)バーコード出品券を作品の右下隅に貼って出品してください。

○出品の際は締切日を厳守してください。出品券のない作品・遅着作品はのせません。

○購読部数をこえる出品の場合は、追加注文をして下さい。(本代には、審査料が含まれます)

出品券 (バーコード出品券)

課題

小 中 学 年 氏 名



※出品券は毛筆用と硬筆用を間違えないようお願いします。

※購読部数をこえる出品は違反になります。

※競書作品出品の際には封筒に「書道芸術学生版作品在中」と印字された色紙を貼って出品してください。(郵送・宅急便等)

登録のお願い

○新規登録その他の変更は、毎月15日までに登録用紙でご連絡ください。(郵便・FAX)

部数変更のお願い

○購読部数は、自動では変更されません。部数減の変更は、毎月15日までに、部数増の変更は、いつでも事務局へご連絡下さい。

1部～9部までの郵送料

1部	79円
2部	87円
3部	103円
4部	119円
5部	135円
6部	143円
7部	159円
8部	175円
9部	191円

〈表紙掲載作品〉

第76回全国学生書道展

半紙の部 全国学生書道展連盟賞

神奈川県 横浜市立今井小学校

六年 杉山花梨

郵便物・清書・送金・一般事務等は

〒101-0031 東京都千代田区東神田一ー六ー七
東神田プラザビル三階

(公財) 書道芸術院

電話 (〇三) 三八六一ー九五四

FAX (〇三) 三八六一ー九五七

振替口座 〇〇一七〇ー八一三五九四七九

ホームページ <http://www.jlincs.co.jp/shogei/>



ホームページのQRコード

ご連絡等は
月曜日～金曜日 10時～16時 の間にお
願いいたします。(土・日・祝日は休み)

令和七年十月二十五日 印刷
令和七年十一月一日 発行

編集兼 下谷洋子
発行人 株式会社 リンクス
データ処理 株式会社
印刷所 小沢写真印刷株式会社
発行所 (公財) 書道芸術院

定価 四三〇円